

XVI 参考資料

1 抵抗性台木を利用した病害虫防除

青枯病、萎ちよう病、半枯病、 その他土壌病害	なす、トマト、きゅうり
---------------------------	-------------

土壌病害の防除はこれといった決め手がなく、連作地では大きな問題となっている。土壌病害の激発は産地を崩壊させる危険性も高い。このため、抵抗性台木を利用した病害の軽減は、今後とも重要な防除対策の一つである。

しかし、抵抗性台木だけでは十分な効果を得ることができないので、土壌消毒等、他の防除法も併せて行う。

①なすにおける抵抗性台木の利用

なすでは、台木の種類によって低温伸長性や収量が異なるので、作型や場での発生病害に応じて品種を選ぶ。なお、青枯病は菌群により、台木の抵抗性が異なるので注意する。

なすの主な台木品種の病害抵抗性

台木の種類	品種・系統名	青枯病	半身萎ちよう病	半枯病
野生種台	ヒラナス（アカナス）	×	×	◎
	トルバム・ビガー	○	○	◎
	カレヘン	○	○	—
	トレロ	○	○	◎
	トナシム	○	○	◎
種間雑種台	耐病VF	×	○	◎
	羽曳野育成1号	○	○	◎
F 1	台太郎	○	×	◎

注) ◎ : 強度の抵抗性、○ : かなりの抵抗性、× : 抵抗性なし

なす青枯病菌群に対する台木品種の抵抗性

品種		I 群菌	II 群菌	III 群菌	IV 群菌	V 群菌
台 木	千両2号	×	×	×	×	×
	ヒラナス（アカナス）	○	○	×	×	×
	トルバム・ビガー	○	○	●	×	○
	カレヘン	○	○	●	×	○
	トレロ	○	○	●	×	○
	トナシム	○	○	●	×	○
	耐病VF	×	×	×	×	×
	羽曳野育成1号	○	○	●	×	○
台太郎		○	○	○	○	○

注) ● : 高温時に抵抗性の崩壊が認められることがある

②トマトにおける抵抗性台木の利用

トマトの台木選定に当たっては、台木と穂木とのToMV抵抗性因子を一致させる。組合せを間違えると、地上部がしおれ枯死したりする。

トマトの主な台木の病害抵抗性

品種名	育成者	抵抗性						ToMV抵抗性因子型	
		萎ちよう病			半身萎 ちよう 病	褐色 根腐病	青枯病		
		レース1	レース2	レース3					
グリーンフォース	タキイ	○	○	○	○	7	8	○ Tm2 ^a	
グリーンセーブ		○	○	○	○	7	9	○ Tm2 ^a	
グリーンガード		○	○	○	○	7	9	○ Tm2 ^a	
ボランチ		○	○	-	○	3	9	○ Tm2 ^a	
Bバリア		○	○	-	○	1	9	○ Tm2 ^a	
ガードナー		○	○	-	○	5	7	○ Tm2 ^a	
ベスパ		○	○	-	○	1	7	○ Tm2 ^a	
アンカート		○	○	-	○	1	6	○ Tm2 ^a	
影武者		○	○	-	○	1	5	○ Tm2 ^a	
ドクターK		○	○	-	○	8	1	○ Tm2 ^a	

注) 1~10は相対評価、育成者毎に基準は異なる

品種名	育成者	抵抗性						ToMV抵抗性因子型	
		萎ちよう病			半身萎 ちよう 病	褐色 根腐病	青枯病		
		レース1	レース2	レース3					
アシスト	サカタ	○	○	○	○	6	8	○ Tm2 ^a	
バックアタック		○	○	○	○	6	8	○ Tm2 ^a	
フレンドシップ		○	○	-	○	9	8	○ Tm2 ^a	
レシーブ		○	○	-	○	-	9	○ Tm2 ^a	
ブロック		○	○	○	○	6	6	○ Tm2 ^a	
マグネット		○	○	-	○	5	6	○ Tm2 ^a	

注) 1~10は相対評価、育成者毎に基準は異なる

品種名	育成者	抵抗性						ToMV抵抗性因子型	
		萎ちよう病			半身萎 ちよう 病	褐色 根腐病	青枯病		
		レース1	レース2	レース3					
カップルT	むさし	◎	◎	-	◎	-	◎	◎ Tm2 ^a	
グレート		◎	◎	-	◎	○	○	◎ Tm2 ^a	
タイアップ		◎	◎	-	◎	-	◎	◎ Tm2 ^a	
バスター		◎	◎	-	◎	○	-	◎ Tm2 ^a	
新カップルT		◎	◎	-	◎	-	◎	◎ Tm2 ^a	

注) ◎=抵抗性、○=耐病性、育成者毎に基準は異なる

品種名	育成者	抵抗性						ToMV抵抗性因子型	
		萎ちよう病			半身萎 ちよう 病	褐色 根腐病	青枯病		
		レス1	レス2	レス3					
根くらべ	カネコ	○	○	-	○	-	○	○ Tm2 ^a	
スーパー良縁		○	○	-	○	-	○	○ Tm2 ^a	
強健		○	○	○	○	-	○	○ Tm2 ^a	
助人		○	○	-	○	○	○	○ Tm2 ^a	

注) ○=抵抗性又は耐病性、育成者毎に基準は異なる

③ウリ科野菜における抵抗性台木の利用

ウリ科野菜では、つる割病回避のため、かぼちゃやとうがおに接木することが多いが、台木由来する病害についても留意する必要がある。

○きゅうり

かぼちゃ台のきゅうりでは、キュウリモザイクウイルス(CMV)とズッキーニ黄斑モザイクウイルス(ZYMV)、または、CMV、ZYMV、カボチャモザイクウイルス(WMV-2)の混合感染で高率に重度の萎ちようをする。

また、ZYMVの単独感染またはCMVとWMV-2の混合感染では低率で軽度の萎ちようをする。ブルームレス台木では、特にこれらの萎ちよう症状が出やすい。さらに、ブルームレス台木では、生育初期から、うどんこ病や褐斑病が発生しやすいので注意する。

かぼちゃ台に接木すると、青枯病の発生が認められている(自根での発生はない)。

作物(穂木)	台木	病原(菌)	病徵
すいか	ゆうがお 黒種かぼちゃ	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lafenariae</i> <i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lafenariae</i>	急性萎ちよう 急性萎ちよう
きゅうり	黒種かぼちゃ ブルームレス台木 ブルームレス台木 かぼちゃ	<i>Fusarium oxysporum</i> f. sp. <i>lafenariae</i> <i>Sphaerotheca fuliginea</i> <i>Corynespora cassiicola</i> CMV+ZYMV混合感染	急性萎ちよう うどんこ病 褐斑病 急性萎ちよう
メロン	かぼちゃ(新土佐)	<i>Didymella bryoniae</i>	つる枯病